

島層群および同相当層の少なくとも一部は九州の日南・石谷両層群(漸新統)・紀州の牟婁層群(漸新統~中新統)とは異なる始新統を含む地層群であることが明らかとなった。

以上の古生物学的記載ならびに今後の四万十帯の生層序学的記載などについては 順次公表してゆく予定であるが 今回の四万十帯からの始新世化石の発見の意義は大きいと考えられるので ここに短報として報告した。

参 考 文 献

HANZAWA, S. (1959): The foraminiferal species *Fabianiacassis* (Oppenheim) in Japan. *Cushman Found. Foram. Res. Contr.*, Vol. 10, 119-122.

甲藤次郎・小島丈児・沢村武男・須籾和巳(1960・1961): 高知県地質鉱産図および同説明書 高知県.

甲藤次郎・三井忍・小出和男(1974): 室戸半島北東部の徳島県穴喰~高知県野根間の地質 高知大学学術研究報告 第23巻 自然科学 第16号.

甲藤次郎・三井 忍(1976): 四国西南部 中筋地溝帯以南の来栖野層について 国立科学博物館専報 第9号.

甲藤次郎(1976): 安芸一宿毛構造線と室戸半島層群の今昔 地質ニュース No. 271.

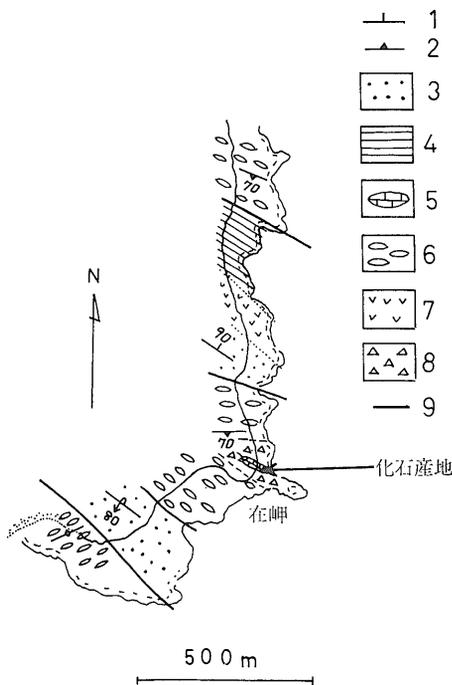
甲藤次郎(1977): デビューする土佐清水フローラ 地質ニュース No. 270.

甲藤次郎(1978): 御荷鉾構造線と唐越礫岩 地質ニュース No. 286.

甲藤次郎・平 朝彦(1978): 室戸半島層群の岩相と堆積環境 地質ニュース No. 287.

甲藤次郎・平 朝彦(1979): 久万層群の新観察 地質ニュース No. 293.

公文富士夫・井内美郎(1976): 室戸半島北東部 徳島県穴喰町周辺の四万十層群古第三系 地質学雑誌 第82巻 第6号



第4図 在岬付近のルートマップと化石採集地点  
 1: 層理面走向および傾斜  
 2: 面構造走向および傾斜  
 3: 砂岩がち互層・厚砂岩層  
 4: 等量互層  
 5: 石灰岩ブロック  
 6: インコーヒレント・ユニット (不連続・変形相)  
 7: 凝灰岩・チャート  
 8: 凝灰角礫岩・チャート  
 9: 断 層

「訂 正」  
 地質ニュース No. 293 「久万層群の新観察」 20p 写真 14 の化石は *Sabalites* sp. ではなく *Cyberites* sp. である。

地 学 と 切 手



ニカラグアの  
 サン・クリ  
 ストバル火山

P. Q.

珍しい三角切手に火山が画かれている。発行されたのは1947年でニカラグアの通常切手の中の1種である。ニカラグアは中央アメリカの国であり 東部の太平洋岸に火山列があり その北部にサン・クリストバル

(San Cristobal) 火山が位置する。活火山カタログによると 正式の名前はエル・ヴィーホ (El Viejo) であり サン・クリストバルは別称で またの名をチネンデガ (Chinendega) ともいう。この火山は海拔 1781 m であり ニカラグアにおいて最高の火山で ほとんど完全な円錐形をなしている。山頂には東西方向に延びた火口があり 2 コの岩滓丘がある。北斜面には多くの玄武岩の熔岩流がみられる。写真では原版が黄色なので 山容がよく再現されていないのは残念。1520年代早期にスペイン人が訪れた頃 この火山は非常に活動的であり 火を噴いていたことが報告されている。16世紀の間は噴火は続いていたといわれているが 1684年と85年の噴火以来 火口内の噴気活動以外の活動の記録はない。